

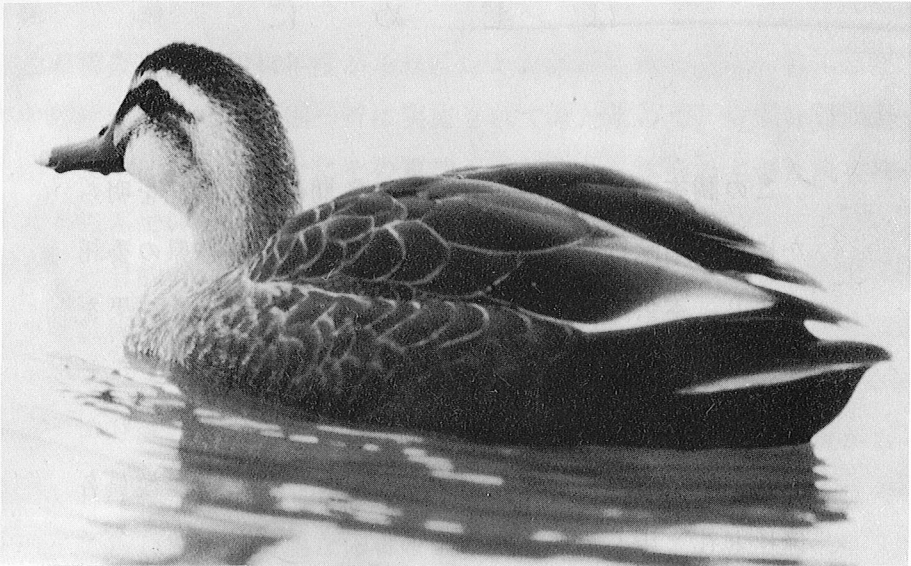
昭和54年度

ガンカモ科鳥類調査報告書

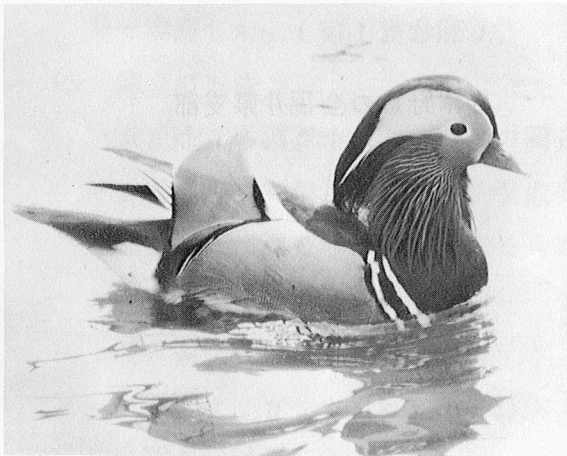
昭和55年3月

福井県

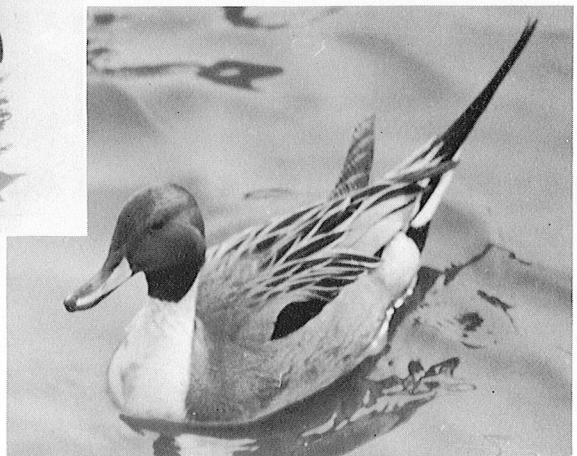
福井県内に渡来するカモ類



カ ル ガ モ



オ シ ド リ



オ ナ ガ ガ モ

は　じ　め　に

この調査は、ガンカモ科鳥類の冬期の生息状況を明らかにし、鳥獣行政に必要な資料とするため福井県の委託により、本会が昭和54年度の事業として実施した結果をとりまとめたものである。

報告書をまとめるにあたり、調査の指導にあたられた福井県自然保護課および協力をいただいた鳥獣保護員各位にお礼を申し上げる次第である。

昭和55年3月

日本野鳥の会福井県支部

1. 調 査 の 概 要

(1) 経 過

この調査は、昭和44年度から林野庁（48年から環境庁）の指示により、毎年1月17日を中心に全国一斉に実施されてきたもので、今回は11回目である。

昭和52年度からは本会にその事業が委託され、本会の主要な調査事業として取り組んでいる。

(2) 調査の目的

別記実施要領参照

(3) 調査の時期

全国一斉調査日は、ガンカモ科鳥類の越冬期のうち、生息状況がもっとも安定している時期ということで指定されているが、本県での調査はその日を中心に調査員の動員可能な休日をあてた。

(4) 調 査 地

調査地は福井県から指定された湖沼、河川、港湾等の狩猟制限区域等12箇所で開催した。（第1表参照）

(5) 調査の方法

調査は、各調査地に2～7名の調査員を配置し、双眼鏡（7～8倍）及び望遠鏡（25～30倍）を使用し、数取器により種類別に数を克明に記録した。

調査法は、調査地が展望できるものは定点調査（各箇所1～2点）、範囲が広い場所は定線調査とした。

(6) 調 査 員

調査員は、ガンカモ科鳥類の識別力のある会員を責任者にあて、延35名がこの調査に従事した。

2. 調 査 の 結 果

例年の調査は、その日の天候に左右されることが多い。本年も多くの調査地では風雪模様の悪条件の中で実施された。

その結果は、総数で12,923羽が確認され、種類数ではカモ類16種（うち亜種1種）で今年も昨年に続いてガン類、ハクチョウ類の記録は得られなかった。

一部の調査地では、雪のため視界が悪く種の確認が困難であったが、不確実なものは集計数から除外した。

調査結果は第2表に示すとおりである。

今回の調査結果について分析すると、例年のことながらカルガモが最も多く、次いでマガモ・コガモの順となりその順位は今年も変化がなく、本県では最も個体数の多い種類といえる。

総数では昨年の約85%しか確認されなかったが、調査時の悪天候による影響もあり、生息数においては著しい減少は見られない。

例年記録がない種類としてウミアイサ、アメリカコガモ（コガモの亜種）が九頭竜川保護区で確認されたことは朗報である。

以下調査地別の結果について述べると――

(1) 北 潟 湖

例年とそれ程変化はなかったが、分布域の小さなヨシガモの群れが見られたこと、半海水湖の特長である潜水ガモ（海ガモ）であるキンクロハジロ、ホシハジロ等の個体数が少なかった。この種の個体数の変動に注目してゆきたい。

また例年この湖において確認されるホオジロガモやミコアイサは個体数の少ない種類であるが本年も確認され、ユニークな種となっている。

(2) 福 良 ケ 池

国道沿線にあるため交通量が多く、環境は悪化しつつあるが、比較的種類数が豊富である。他の区域に少ないヨシガモが数多く記録された。

なお、池の周囲に人の出入りが多いためか個体数の変動が大きく、カモ類

の警戒心が比較的強いように思われる。

(3) 加戸大堤

例年よりマガモの個体数が多かった。しかし、コガモも他の区域より多いのはこの地区の特色である。警戒心の強いマガモが多かったのは、風雪がはげしかったため海上等に逃避していた群れが飛来したものであろう。

ハシビロガモ・オナガガモは常連であるが、少数ながらトモエガモも記録された。

(4) 九頭竜川

嶺北では最も高密度の生息地である。本年もあまり生息数の変化は見られなかった。

この地区には例年カワアイサが記録される唯一の場所であるが、本年はウミアイサ2羽が記録されたほか、アメリカコガモ1羽が確認されている。このアメリカコガモは、コガモの群れに混って少数が渡来するが類似した色彩のため発見の機会が少ない。同地では過去にも1羽確認されたことがある。

(5) 日野川

銃猟禁止区域のため安定したカモ類の生息地となっているが、その種類はあまり多くない。本年はミコアイサ8羽が確認されたことは興味があり、河床の環境整備事業で流水が多くなったことと相関し、これまで時おり記録されたキンクロハジロ・ホシハジロ等の潜水性の海ガモ（一定の水深が必要である）が見られなかった。

(6) 猪ヶ池

海上が時化の時には渡来数が多くなる。いわば典型的なカモ類の避難所としての特色をもつ。今回の調査ではマガモ、カルガモが多かったが海ガモもよく飛来している。

(7) 久々子湖

全国的に有名なカモ渡来地、三方五湖の一つで種類が多く、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモの三種は例年観察される。しかし災害復旧工事により湖岸が改修されたため、他の湖と同様水鳥の生息地としての条件は悪化している。

れているためか近年ほとんど渡来しない。

月湖は王侯に召懸けの心算營とあつた伊豫の國東のこの湖の地

水域の面積が広大で調査の精度を高めることは困難であるが、例年種類数は豊富である。しかし今回は降雪による眺望不良と海ワシ（オオワシ・オジロワシ）の飛翔のためか、数は少なかった。

数・種類とも本県では最も好条件の場所である。他の地域では少ないオンドリが例年数多く確認されているなど、貴重な場所である。

調査地のうち唯一の海水面で、銃猟禁止区域となっている。キンクロハジロ、ホシハジロなどの海ガモが群れの大部分を占めているが、今回はマガモが最も多く、海ガモは2種類にとどまった。

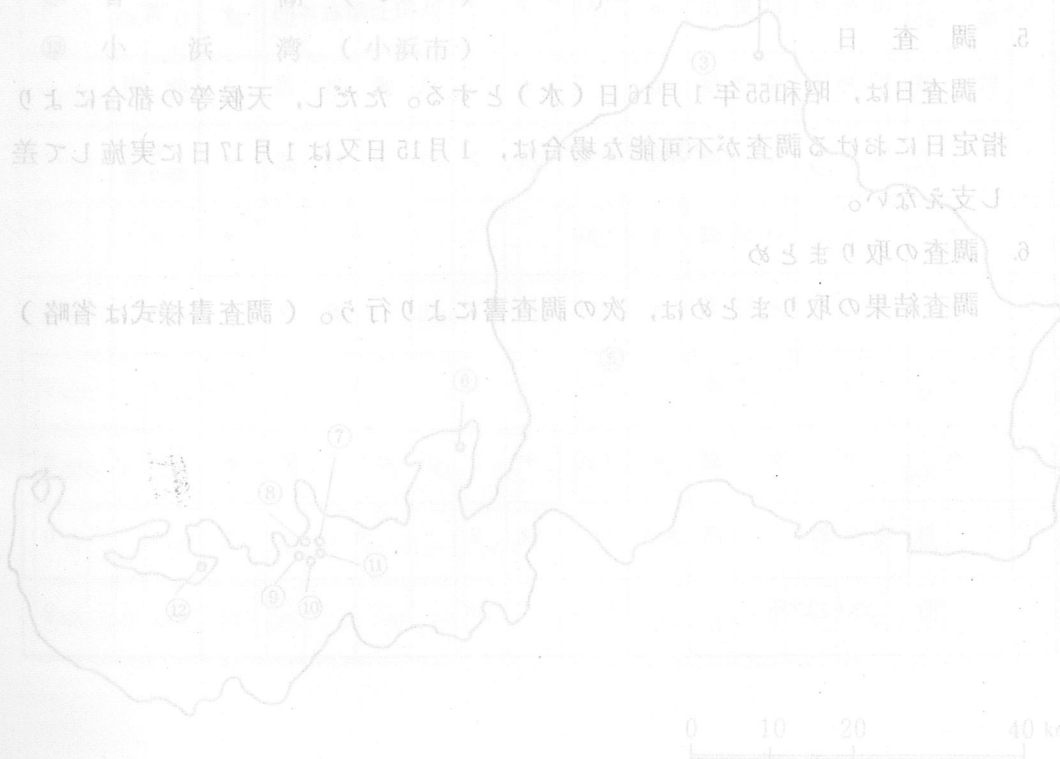
3. 過去における調査結果の集計

昭和54年度ガンカモ科鳥類生息調査地

今回の委託調査にあたり、昭和44年度以降県内で実施された調査資料を年度別に集計対比し、参考とした。

(第3表および第4表・第5表参照)

- ① 加戸大堤 (三国町) 村主の査問
- ② 九頭竜川 (御井市) 〇るせう泉田直潜、お村主の査問
- ③ 日野川 (武生市・鯖江市) 越田 査問
- ④ 猪ヶ池 (敦賀市) 〇るせう泉田直潜、越田の泉田直潜
- ⑤ 久々子湖 (美浜町・三方町) 越田の査問、又宝蔵の査問
- ⑥ 〇るせう査問、幾村の査問 (美浜町) 越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (1)
- ⑦ 〇るせう基の査問、主殿の前、町、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (2)
- ⑧ 〇るせう土、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (3)
- ⑨ 〇るせう、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (4)
- ⑩ 〇るせう、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (5)
- ⑪ 〇るせう、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (6)
- ⑫ 〇るせう、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (7)
- ⑬ 〇るせう、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (8)
- ⑭ 〇るせう、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (9)
- ⑮ 〇るせう、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (10)
- ⑯ 〇るせう、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (11)
- ⑰ 〇るせう、〇るせう、越田の査問、〇るせう、チヤ、ベヤ (12)



(8) 日 昭和54年度ガンカモ科鳥類の生息調査実施要領

1. 調査の目的

最近におけるガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況をは握し、鳥類保護行政に必要な資料とする。

2. 調査の主体

調査の主体は、都道府県とする。

3. 調査区域

各都道府県の区域（海域を含む）とする。

4. 調査地の選定及び調査の方法

(1) ガン、カモ、ハクチョウ類の渡来地について、種別に個体数を調査する。

(2) 調査員には鳥類の判別に堪能な者をあて、事前に過去の調査に基づいて、調査地区を含め、調査地区ごとに調査員を配置して、調査洩れを防止するとともに調査精度の向上に努めるものとする。

5. 調査日

調査日は、昭和55年1月16日（水）とする。ただし、天候等の都合により指定日における調査が不可能な場合は、1月15日又は1月17日に実施して差し支えない。

6. 調査の取りまとめ

調査結果の取りまとめは、次の調査書により行う。（調査書様式は省略）

鳥類

- する。
いて、
する

より
て差

略)



昭和54年度ガンカモ科の

生息調査結果

	調 査 地				調 査 面 積	鳥 獣 保 護 区 等 の 区 分	調 査 人 員	調査員代表	調 査 月 日	天 候	ガン類
	郡 市	町 村	地 名	地 況							
1	坂 井	芦 原 町	北 瀉 湖	湖	230 ^{ha}	保	3	北 川 賀 文	1.15	雪 時々晴	0
2	〃	〃	福良ヶ池	池	4	銃	3	榎 本 二 郎	〃	くもり	0
3	〃	三 国 町	加戸大堤	〃	9	保	3	池 崎 和 男	〃	雪 時々晴	0
4	福 井	高 木 町	九頭竜川	河川	150	〃	4	吉 村 芳 武	〃	雪	0
5	武 鯖 生 江	瓜 生 町	日 野 川	〃	200	〃	7	八田七郎右エ門	〃	雪	0
6	敦 賀	明 神 町	猪 ヶ 池	池	5	〃	3	広 瀬 義 雄	〃	吹 雪	0
7	三 方	美 浜 町	久々子湖	湖	150	銃	2	田 辺 幹 雄	〃	くもり 時々雪	0
8	〃	〃	日 向 湖	〃	50		2	〃	〃	〃	0
9	〃	三 方 町	水 月 湖	〃	400	保	2	辻 義 次	〃	〃	0
10	〃	〃	三 方 湖	〃	300	〃	2	〃	〃	〃	0
11	〃	〃	菅 湖	〃	120	〃	2	山 崎 芳 昭	〃	〃	0
12	小 浜	甲 ヶ 崎	小 浜 湾	海面	650	銃	2	〃	〃	〃	0
合 計 (12ヶ所)					2,268		35				0

第2表(福井県)

鳥類の生息調査実施結果表

カモ類																	ハクチョウ類
カルガモ	コガモ	マガモ	オナガガモ	ヒドリガモ	ハシビロガモ	オシドリ	キンクロハジロ	スズガモ	ウミアイサ	カワアイサ	ミコアイサ	ヨシガモ	トモエガモ	ホシハジロ	ホオジロガモ	計 (16種)	
1,459	6	10	—	221	—	—	4	—	—	—	5	10	3	60	20	1,798	0
—	3	60	—	4	—	—	15	—	—	—	19	60	—	1	—	162	0
55	853	575	7	4	5	—	—	—	—	—	—	—	6	2	—	1,507	0
1,234	636	245	166	22	—	—	—	—	2	13	—	—	—	—	—	2,318	0
925	905	17	91	52	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	1,998	0
105	2	153	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	263	0
86	25	54	—	3	—	—	261	32	—	—	—	—	—	346	—	807	0
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0
13	—	293	5	32	—	—	298	6	—	—	—	—	—	—	—	647	0
347	—	16	—	10	—	—	30	—	—	—	—	—	—	285	7	695	0
83	17	2,075	2	1	—	65	105	82	—	—	3	7	—	2	3	2,445	0
31	—	145	—	37	—	—	—	—	—	—	—	2	—	66	2	283	0
4,338	2,447	3,643	271	386	5	65	716	120	2	13	35	79	9	762	32	12,923	0

ガンカモ科鳥類生息調査年度別実施状況

第3表
福井県

区分 調査 年度	調 査 場 所	調 査 対 象 面 積 ha	調 査 人 数	調 査 結 果				備 考
				参 考 資 料		ウ		
				種 / 羽	種 / 羽	種 / 羽	種 / 羽	
44	ヶ所 6	1,198	22	0 / 0	9 / 3,063	1 / 4	10 / 3,067	ヘクタール 当り生息数 2.5
45	12	2,481	35	1 / 130	10 / 4,215	0 / 0	11 / 4,345	1.6
46	32	2,284	42	0 / 0	14 / 3,952	0 / 0	14 / 3,952	1.7
47	16	3,400	74	0 / 0	16 / 6,682	0 / 0	16 / 6,682	1.9
48	14	2,725	78	1 / 58	15 / 12,232	1 / 1	17 / 12,291	4.5
49	11	2,725	59	0 / 0	15 / 10,503	0 / 0	15 / 10,503	3.8
50	14	2,677	83	0 / 0	18 / 16,800	0 / 0	18 / 16,800	6.2
51	9	1,395	46	1 / 8	14 / 6,164	0 / 0	15 / 6,172	4.4
52	9	2,184	33	0 / 0	12 / 7,653	0 / 0	12 / 7,653	3.5
53	13	2,273	1	0 / 0	0 / 0	0 / 0	19 / 15,306	6.7
54	12	2,268	0	0 / 0	0 / 12,923	0 / 0	16 / 12,923	5.7
	126	25,481	539	2 / 226	23 / 99,463	1 / 5	26 / 99,676	

この資料は、昭和44年度から
昭和54年度までの調査記録を
まとめたものである。

(注) 調査地はいずれも鳥獣保護区等の捕獲規制区域である。

ガンカモ科鳥類生息調査年度別実施状況

第3表
福井県

区分 調査年度	調査 個所	調査 対象 面積	調査 人員	調 査 結 果				備 考
				ガ ン 類 種 / 羽	カ モ 類 種 / 羽	ハクチョウ 類 種 / 羽	計 種 / 羽	
4 4	ヶ所6	ha 1,198	人22	0 0	9 3,063	1 4	10 3,067	ヘクタール 当り生息数 2.5
4 5	12	2,481	35	1 130	10 4,215	0 0	11 4,345	1.6
4 6	12	2,284	42	0 0	14 3,952	0 0	14 3,952	1.7
4 7	16	3,400	74	0 0	16 6,682	0 0	16 6,682	1.9
4 8	14	2,725	78	1 58	15 12,232	1 1	17 12,291	4.5
4 9	11	2,725	59	0 0	15 10,503	0 0	15 10,503	3.8
5 0	14	2,677	83	0 0	18 16,800	0 0	18 16,800	6.2
5 1	9	1,395	46	1 8	14 6,164	0 0	15 6,172	4.4
5 2	9	2,184	33	0 0	18 7,653	0 0	18 7,653	3.5
5 3	13	2,273	32	1 30	18 15,276	0 0	19 15,306	6.7
5 4	12	2,268	35	0 0	16 12,923	0 0	16 12,923	5.7
	128	25,481	539	2 226	23 99,463	1 5	26 99,676	

(注) 調査地はいずれも鳥獣保護区等の捕獲規制区域である。

第4表

ガンカモ科鳥類生息調査年度別合計表

番号	種名		調査年度												計
			44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54		
1	ガンカモ類	マガン	-	130	-	-	-	-	-	8	-	-	-	138	
2		不明確	-	-	-	-	58	-	-	-	-	30	-	88	
		計	-	130	-	-	58	-	-	8	-	30	-	226	
3	カモ	オシドリ	18	168	100	50	51	51	84	33	48	110	65	778	
4		マガモ	187	776	915	1,736	2,436	3,033	6,345	3,220	1,887	3,394	3,643	27,572	
5		カルガモ	516	980	731	1,625	5,994	2,219	3,573	1,245	2,695	4,930	4,338	28,846	
6		コガモ	2,012	631	1,923	2,612	3,082	3,989	5,700	1,178	1,845	3,839	2,447	29,258	
7		トモエガモ	60	-	2	19	25	3	100	1	4	18	9	241	
8		ヨシガモ	57	84	19	26	2	5	23	-	13	38	79	346	
9		オカヨシガモ	-	-	-	3	-	-	4	-	2	-	-	9	
10		ヒドリガモ	37	560	25	49	59	5	110	109	116	374	386	1,830	
11		オナガガモ	-	-	1	6	22	24	25	11	15	487	271	862	
12		モ	ハシビロガモ	-	-	-	2	3	92	115	5	2	18	5	242
13			ホシハジロ	141	528	27	188	157	751	197	242	458	837	762	4,288
14			キンクロハジロ	35	486	67	312	371	288	263	109	375	925	716	3,947
15			ススガモ	-	-	-	12	10	-	-	4	98	195	120	439
16			クロガモ	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	-	9
17		カモ類	ホウシロガモ	-	-	1	-	-	5	3	1	47	21	32	110
18	ミコアイサ		-	-	19	3	2	22	35	1	36	66	35	219	
19	ウミアイサ		-	-	-	-	-	-	6	-	2	4	2	14	
20	カワアイサ		-	1	22	9	9	6	2	5	7	11	13	85	
21	アカハシハジロ		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
22	アカツクシガモ		-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
23	不明種		-	-	100	30	9	10	214	-	-	3	-	366	
		計	3,063	4,215	3,952	6,682	12,232	10,503	16,800	6,164	7,653	15,276	12,923	99,463	
24	ハクチョウ類	コハクチョウ	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	
		計	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	
	計		3,067	4,345	3,952	6,682	12,291	10,503	16,800	6,172	7,653	15,306	12,923	99,676	

(注) 各年度毎の調査地、および調査箇所等は一定していない。

4 表

計
138
88
226
778
572
846
258
241
346
9
830
862
242
288
947
439
9
110
219
14
85
1
1
366
463
5
5
3,676

優 占 度 比 較 表

年度	種名	コ	ー	ガ	ー	モ	カルガモ	マガモ	ヒドリガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	オシドリ	その他
昭 44													
45													
46													
47													
48													
49													
50													
51													
52													
53													
54													

(注) 44年度より毎年記録された種についてのみ記載した。

第5表

- ヒドリガモ
- ホシハジロ
- キンクロハジロ
- オシドリ
- その他

今回の調査は、各調査地ともベストメンバーが協力して精度の高い調査を行い、数多くの成果をあげた。調査野帳は後日のデーターとして保存し役立てたい。

とかく、鳥類の生息状況についての資料が不足しているといわれているとき、この調査資料のはたす役割は大きいものと思われる。

協力者各位に厚くお礼を申しあげる次第である。

//////////////// 調 査 協 力 者 ////////////////// (五十音順)

池 崎 和 男	・	上 木 泰 男	・	植 谷 益 子
榎 本 二 郎	・	大 塚 真 史	・	北 川 賀 文
久保上 宗次郎	・	生 水 俊 一	・	高 田 雄 治
田 辺 幹 雄	・	田 結 利 貞	・	辻 義 次
中 林 良 介	・	八田七郎右ヱ門	・	林 武 雄
広 瀬 義 雄	・	門 前 孝 也	・	山 崎 芳 昭
吉 村 芳 武	・	三田村 基	・	宮 下 秀 治
(写真 上木・林)				ほか

〒910 福井市照手1丁目5-14

(中林方)

日本野鳥の会福井県支部